



株式会社日本動物高度医療センター（東証グロース：6039）

# 2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024年2月8日

## 2024年3月期の推移

### 期中で増収減益だが、第3四半期は過去最高の売上・利益を記録

4～6月

- 川崎本院の放射線治療を休止（最新機種に入替えのため）
- 眼科の新規患者受入れを4月に停止（6月に廃止）
- 6月1日の大阪病院開院の準備のため既存病院の一部診療スタッフの稼働が低下
- 大阪病院開院のため経費が増加（備品・消耗品 他）

7～9月

- 7月中旬から放射線治療を再開
- 前半は既存病院の初診数が伸び悩み
- 後半から診療スタッフの増強と体制の安定により診療能力が向上、初診数は盛り返し、四半期としては**過去最高の売上**

10～12  
月

- 診療能力向上により初診数は増加を継続
- 大阪病院の診療数も順調に増加
- 四半期としては過去最高の初診数、手術数を記録
- 四半期としては**過去最高の売上、利益を記録**

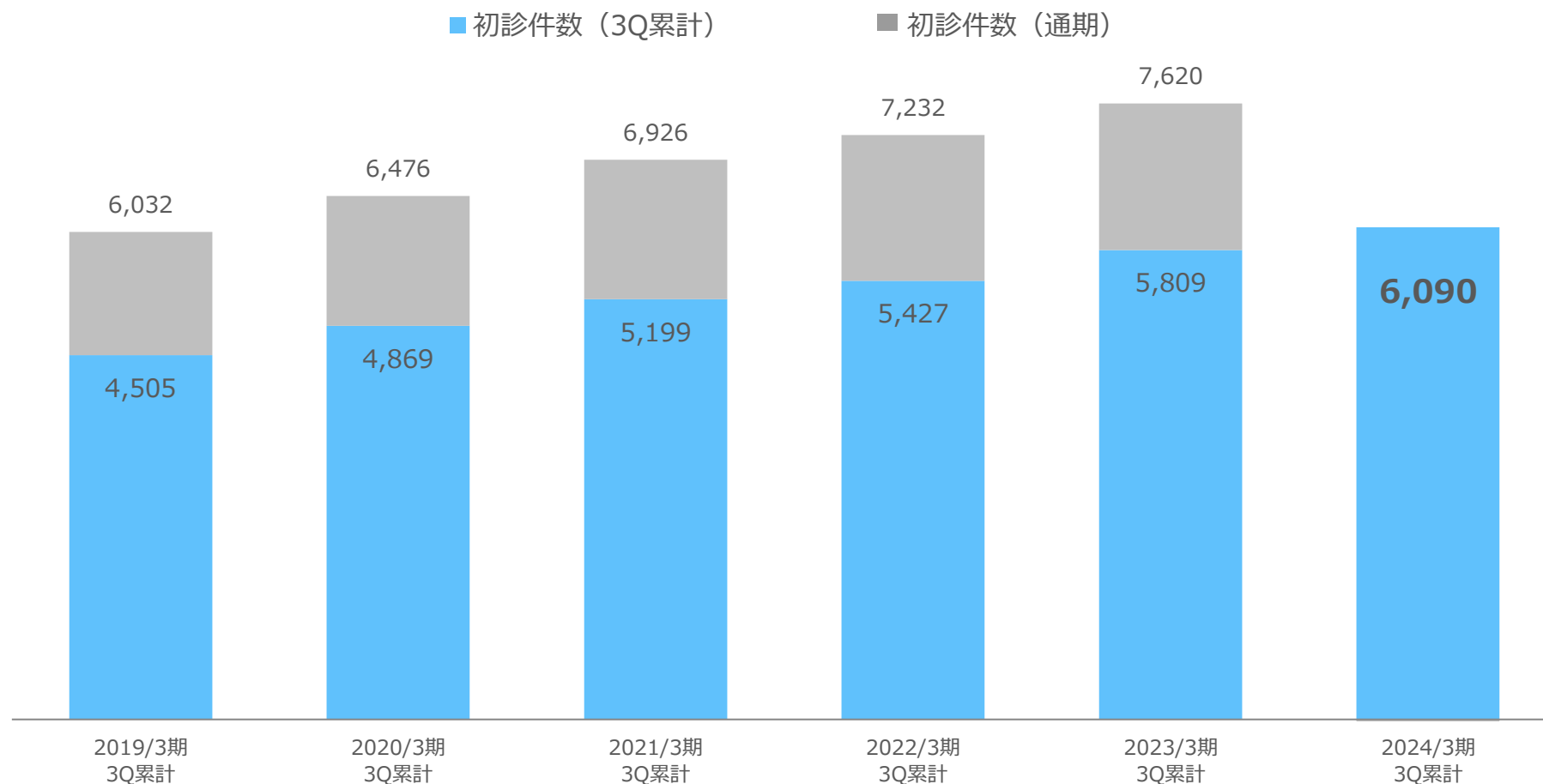
# 2024年3月期第3四半期 決算概要

- 症例数増加により売上高は増収
- 大阪病院の開院に伴う費用等が増加したことにより減益

(百万円)	2023/3期			2024/3期				
	3Q累計実績	進捗率	通期実績	3Q累計実績	前年同期比		進捗率	通期計画
売上高	2,915	75.3%	3,872	<b>3,115</b>	+200	+6.9%	75.3%	4,140
二次診療サービス	1,961	75.6%	2,594	<b>2,115</b>	+153	+7.8%	-	-
画像診断サービス	353	74.7%	472	<b>403</b>	+49	+14.1%	-	-
健康管理機器レンタル・販売サービス	590	76.2%	774	<b>591</b>	+0	+0.1%	-	-
売上原価	1,817	-	2,430	<b>2,063</b>	+245	+13.5%	-	-
販売費・一般管理費	640	-	862	<b>706</b>	+65	+10.3%	-	-
営業利益	456	78.7%	580	<b>345</b>	▲111	▲24.4%	62.3%	555
経常利益	421	78.9%	534	<b>335</b>	▲86	▲20.5%	59.3%	565
親会社株式に帰属する 四半期純利益	279	73.5%	380	<b>220</b>	▲59	▲21.2%	57.3%	385
1株当たり 四半期純利益	119.7円	-	156.3円	<b>80.2円</b>	▲39.5円	▲33.0%	-	140.5円

# 事業KPI：初診件数（紹介数）は過去最高

- 初診件数は減少要因があったものの盛り返し、第3四半期での過去最高件数を更新

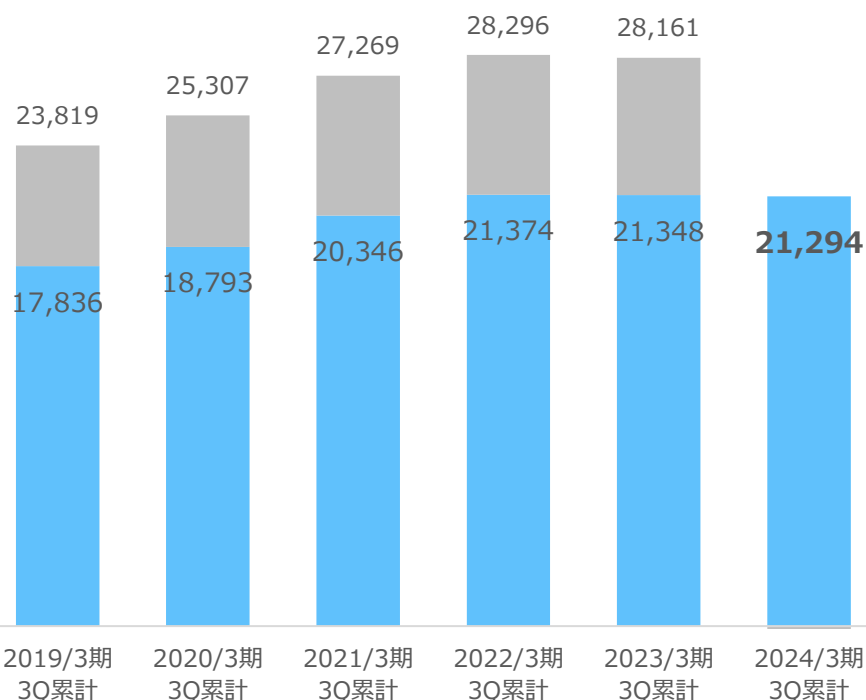


# 事業KPI：総診療件数、手術件数の推移

- 総診療件数は再診件数減少の影響をうける ← 再診の不要な早期受診の増加などが要因
- 手術件数は過去最高

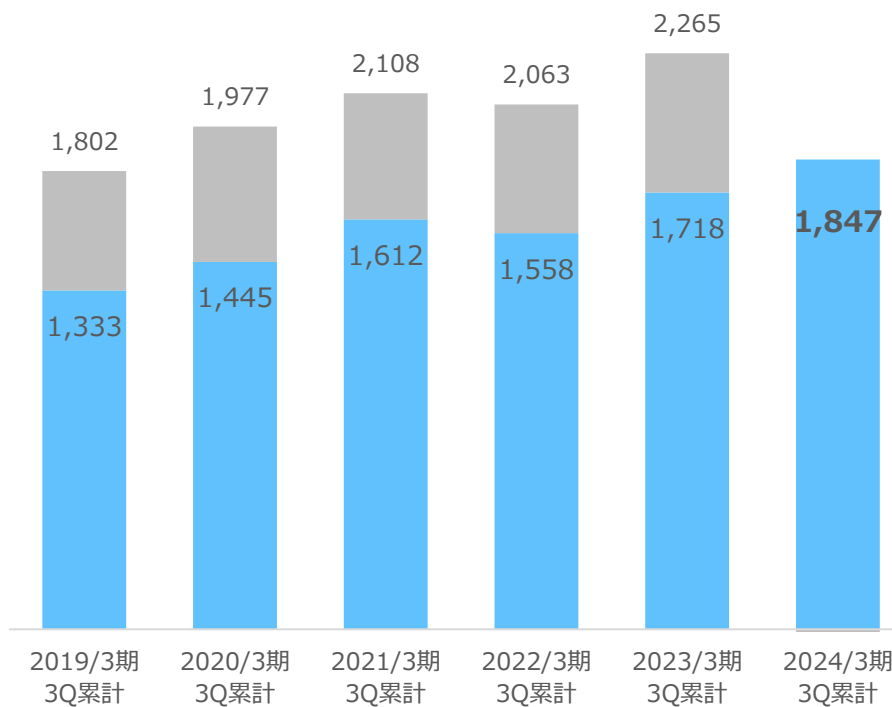
### 総診療件数の推移

■ 総診療件数 (3Q累計)   ■ 総診療件数 (通期)



### 手術件数の推移

■ 手術件数 (3Q累計)   ■ 手術件数 (通期)



注：総診療件数は初診と再診の合計数

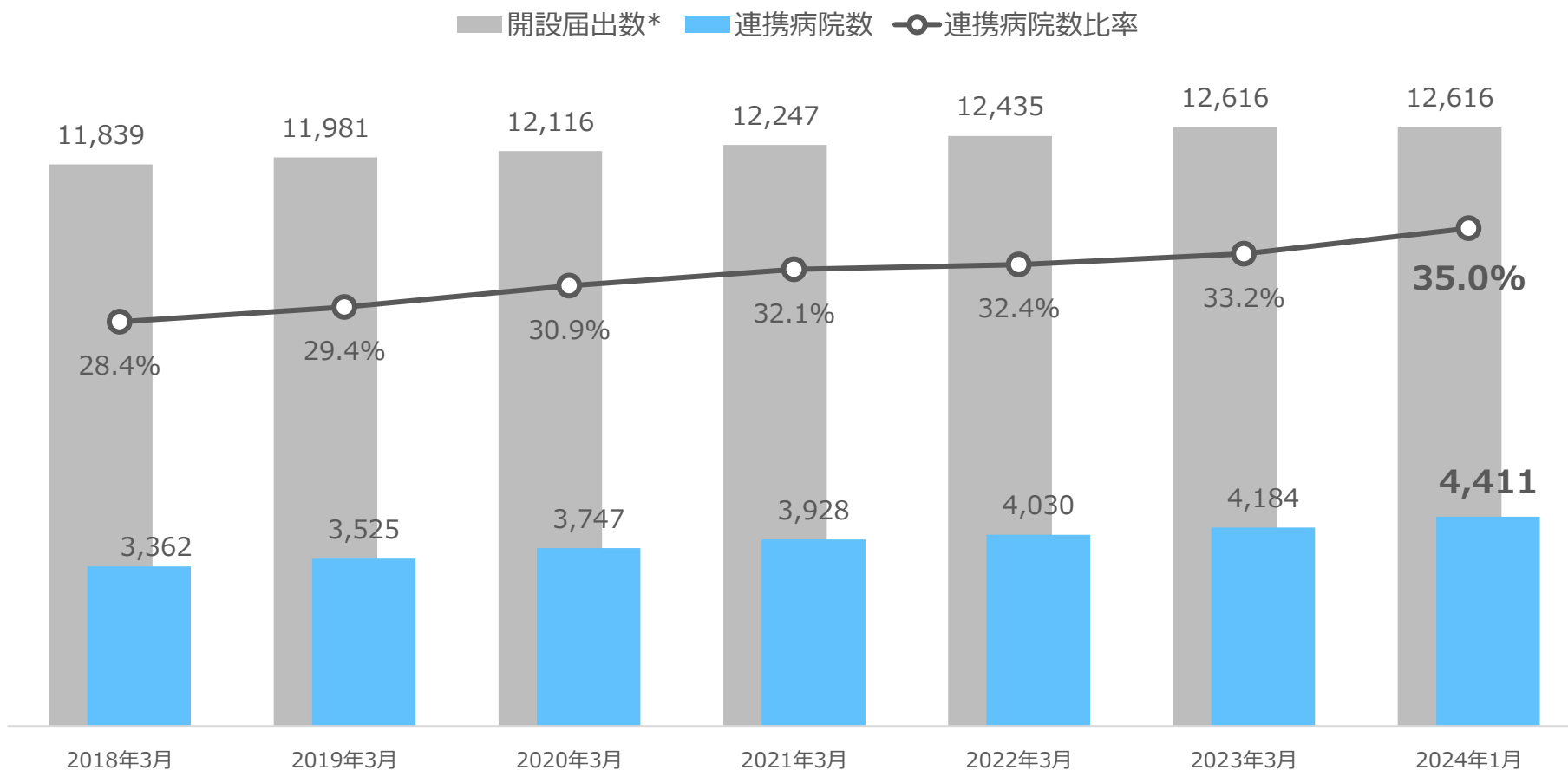
# バランスシートの状況

- 大阪病院開院及び川崎本院放射線治療器等の取得に伴い有形固定資産が増加
- 自己資本比率は43.2%から45.7%へ改善

(百万円)	2023/3期	2024/3期3Q	前期末比
流動資産	2,396	<b>1,895</b>	▲501
現預金	1,916	<b>1,472</b>	▲444
売掛金	263	<b>276</b>	+13
商品	95	<b>80</b>	▲15
固定資産	6,182	<b>6,611</b>	+429
有形固定資産	5,333	<b>5,758</b>	+425
無形固定資産	608	<b>564</b>	▲43
総資産	8,578	<b>8,506</b>	▲72
負債	4,872	<b>4,620</b>	▲252
有利子負債	3,975	<b>4,014</b>	+38
純資産（株主資本）	3,706	<b>3,886</b>	+180
自己株式	▲171	<b>▲204</b>	▲33
負債純資産合計	8,578	<b>8,506</b>	▲72

# 連携病院数は、全国4,411施設に

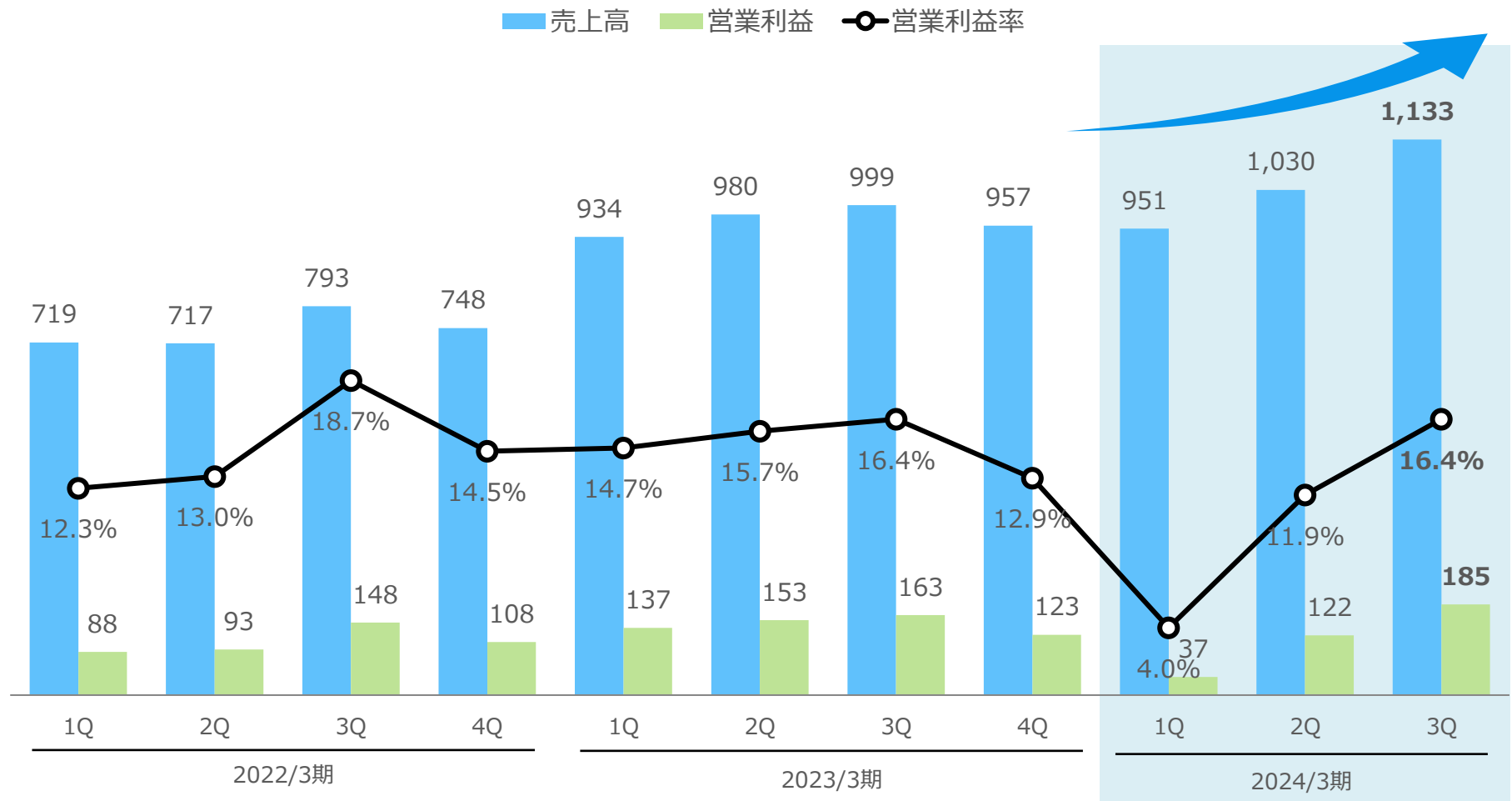
- 2024年1月の連携病院数は足元10ヶ月で+227件（うち近畿地区+191件）と着実に増加
- 連携病院数比率は35.0%に上昇



\*開設届出数は農林水産省（令和4年12月末時点の小動物診療施設の件数）

# (ご参考) 四半期決算 業績推移

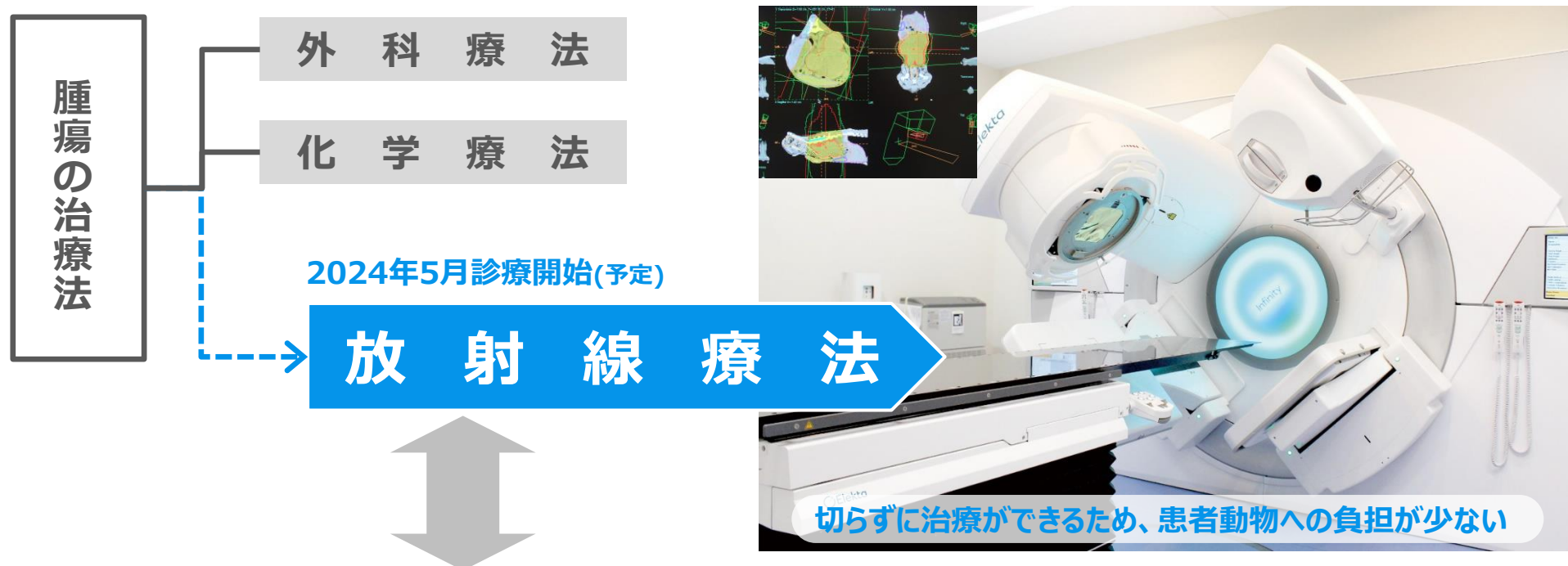
- 2024/3期3Qは売上高、営業利益とも過去最高
- 営業利益率は、2024/3期1Q大阪開院時に一時的に低下したがその後持ち直し





# 大阪病院における業務領域の拡大

- 放射線治療棟は2023年10月着工、放射線治療機器も購入
- 2024年5月診療開始予定

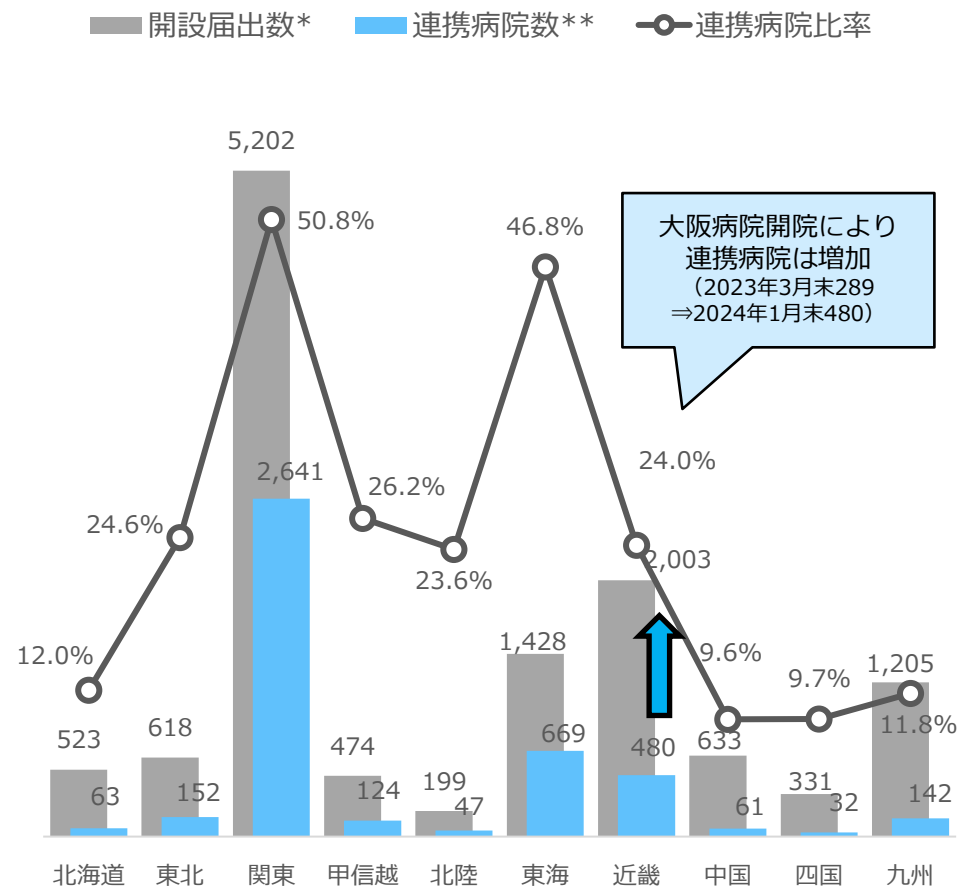
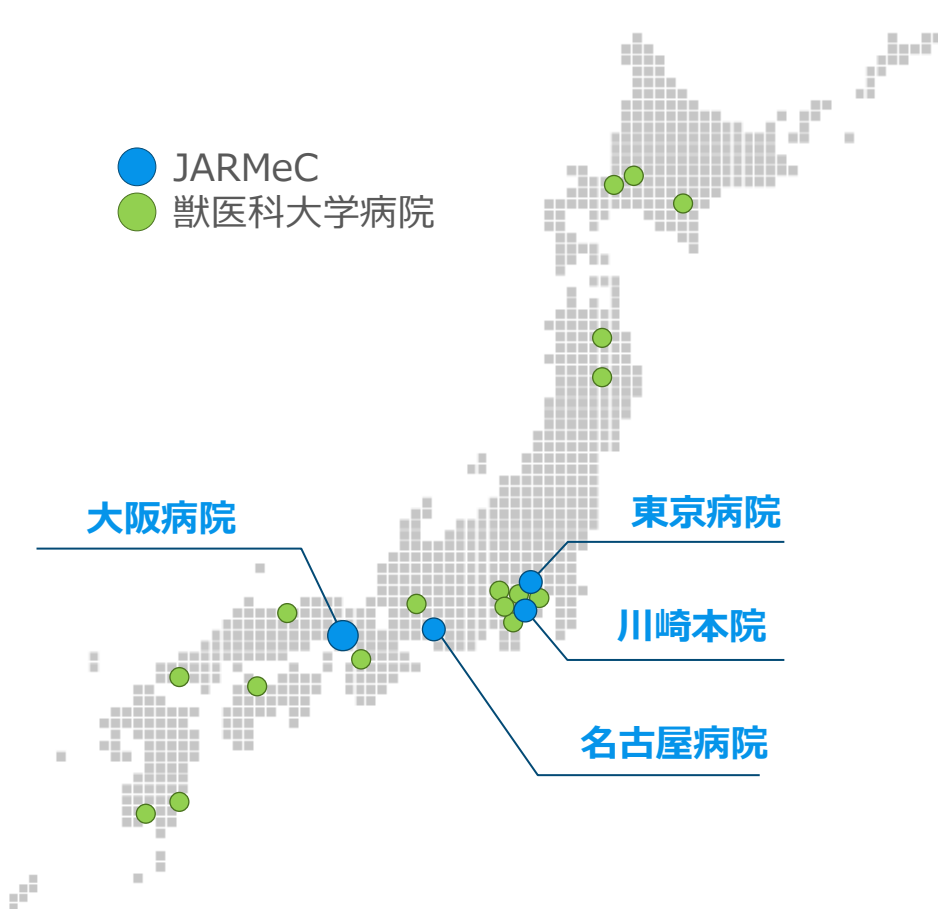


近畿地区における動物の放射線療法の実施可能な施設は限定的

事業領域は拡大

# 今後の拠点展開

- 大阪病院開院により、関東、東海エリア同様に関西エリアを中心に連携病院比率の引き上げを計画
- 早期の新病院開院に向け物件の選定を実施中



\*開設届出数は農林水産省（令和4年12月末時点の小動物診療施設の件数）

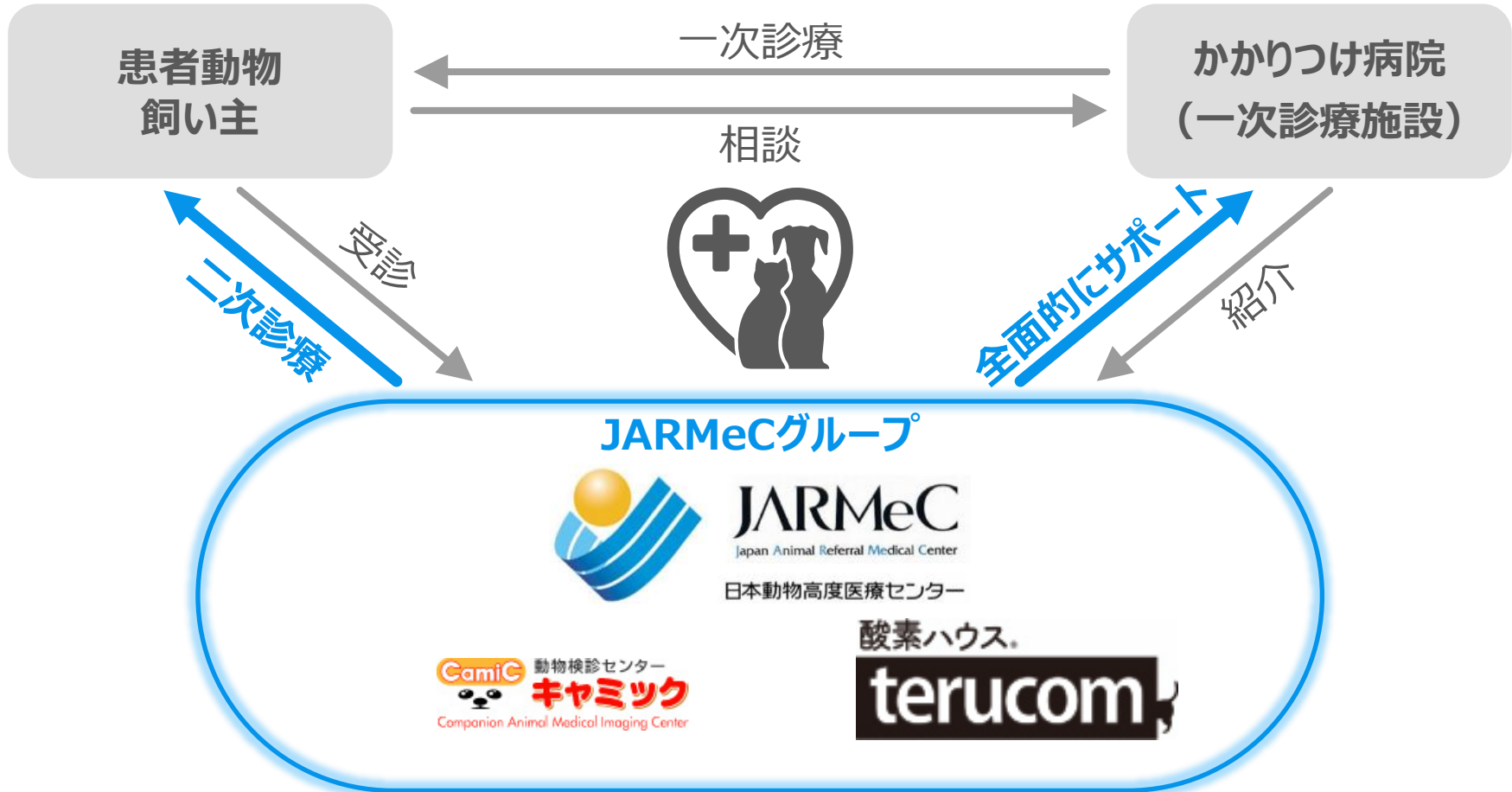
\*\*連携病院数は2024年1月末時点の件数

事象	2023年11月15日 連結子会社テルコム株式会社が過去に輸入した一部の製品に電気用品安全法上の不備があったことが判明
不備の内容	電気用品安全法上の届出、表示内容、技術基準適合性確認、自主検査・検査記録の不備
対応策	<ul style="list-style-type: none"><li>(1)11月15日 電気用品安全法上の届出を実施</li><li>(2)12月1日 技術基準適合確認資料等を関東経済産業局製品安全室に提出</li><li>(3)12月13日 訂正した定格銘板シールを全ての販売先・レンタル先に郵送し、レンタルを再開</li><li>(4)12月20日 「電気用品安全法の不備とその改善結果の報告」に関する改善報告書を関東経済産業局 製品安全室に提出（今後も自主検査を継続して実施、検査記録を保存）</li></ul>



今後再発防止・法令遵守を徹底  
なお本件による業績への影響は軽微

当社のビジネスモデル



- ✓ 「ペットに家族と同じように高度な医療を受けさせたい」というニーズ
- ✓ 二次診療を中心とした事業により、一次診療施設を全面的にサポート

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター  
管理部 企画課 IR担当  
044-850-1320  
e-mail : ir@jarmec.jp